

高知市社会福祉法人連絡協議会

社会福祉法人が分野や立場を越えて相互に連携し、制度の狭間のニーズや複合的な課題に対して、地域が必要とする新たな福祉サービスの開発及び支援等の「地域における公益的な取り組み」を行い、地域の社会資源として役割を果たすことを目的としています。

会員法人 19法人（令和7年4月現在）

法人名	主な施設	種別
福井保育協会	福井保育園	児 童
和光会	高知愛児園	
一ツ橋保育園	一ツ橋保育園	
朝倉くすのき保育園	朝倉くすのき保育園	
幸の会	東秦泉寺保育園	
高須福祉会	高須保育園	
南少	南海少年寮	
昭和会	昭光園	児 童・障がい
小高坂更生センター	小高坂更生センター	障がい
土佐あけぼの会	サポートぴあ	
太陽福祉会	ワークセンター太陽	
秦ダイヤライフ福祉会	絆の広場	障がい・高齢・救護
土佐香美福祉会	ウェルプラザ高知	高 齢
ミレニウム	高知市福寿園	
高知新聞社会福祉事業団	あかねの里	
ふるさと会	森の里高知	
せと	ケアハウス土佐	
高春福祉会	若菜荘	
高知市社会福祉協議会		

入会について

連絡協議会への入会に際しては、前年度の資金収支計算書をもとに算定した拠出金が必要になります。

<事務局> 社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 地域協働課
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番45号 総合あんしんセンター3階
TEL 088-823-9570 FAX 088-856-5549

高知市

複数法人が連携した「地域における公益的な取組」

社会福祉法人連絡協議会NEWS

令和7年度 研修会を開催しました！

複合的課題を抱えた世帯への支援 ～多職種協働ワーク～



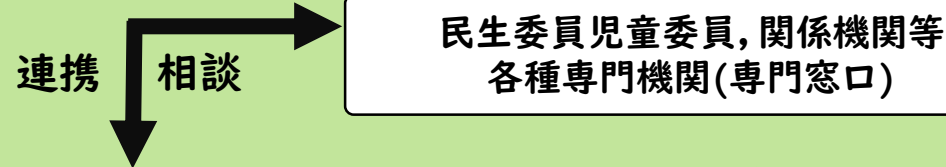
令和7年5月16日(金) 高知市社会福祉法人連絡協議会の研修会を開催しました。今年度は、「多職種協働」をテーマに、児童・障がい・高齢・生活困窮それぞれの分野の職員が参加し、複合的な課題を抱える世帯の模擬事例を用いて意見交換を実施しました。参加者からは、「他分野の視点やつなぎ方について学べる貴重な機会だった。」「今回の事例のように複合的な課題を抱えた世帯が今後、増加してくると思う。分野を超えて連携・協働する大切さを感じた。」といった意見が聞かれており、社会福祉法人の横のつながりを活かした多職種協働による支援について学びを深めることが出来ました。高知市社会福祉法人連絡協議会では、年間を通じて様々なテーマで研修会を開催しています。

令和7年度の取組

3部会活動を中心に個々の社会福祉法人がこれまで培ってきた特性・専門性をつなぎ合わせ、複数法人間の連携による制度の狭間を埋める取組を展開する。

生活困窮者支援

くらしあんしん応援事業

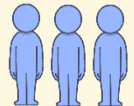


連絡協議会会員19法人(R7.4現在)

多様な相談経路の確保



くらしあんしん応援
事業相談員



負担金



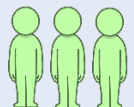
(可能な法人)
就労体験・社会参加支援
地域住民の居場所づくり

積極的なアウトリーチ



¥ 拠出金

生活支援相談センター
自立相談支援員



高知市社会福祉協議会
(管理・運用)

改正社会福祉法106条の2

①総合相談支援

施設利用者の家族・友人・知人、
地域住民が抱える地域生活課題
をキャッチし、「必要な支援につなぐ」

②経済的支援

既存の制度やサービスによる支援が
受けられず、緊急性を要する生活困窮
状態にある場合に、経済的支援を実施。

給 付:(限度額)10,000円
支援金:(限度額)40,000円

③社会参加支援

就労に不安がある者や就労や社会
参加活動を希望する者に対し、
就労の場や社会参加活動の場
の提供及び応援金を給付する。

生活
困窮者等

相談事例

40代女性

子ども2人(13歳、17歳)との3人世帯。
家賃滞納によって、住居を失い支援を開始。
一時生活支援事業(シェルター)での受入、
金銭管理の支援を行うとともに、子どもの通
学のための交通費をくらしあんしん応援事
業にて支援を実施した。

70代男性 単身

生活保護ボーダー層の年金生活。
家計のやりくりが出来ず、電気停止。復旧の
ための資金をくらしあんしん応援事業にて
支援。年金の範囲内で生活が出来るよう、
家計管理の支援を行うとともに、地域の集
いの場にもつなぐことで、見守り体制も整備
した。

3部会活動の実施

【地域公益活動推進部会】

◎福祉教育の実施

・保育園・幼稚園における福祉学習の実施

複数法人が連携して福祉学習を実施。法人属性の違いを活用し、世代間交流の要素を組み込むなど、
多様なメニューを準備する。

・高校・福祉専門学校等における出前講座の実施

進路選択の機会として、児童・障がい・高齢の各分野で働く専門職から「福祉の現場の魅力」を
伝える講座を実施する。



◎フードドライブの実施

年2回、期間を定めて活動を実施。集まった食品等については、高知市
生活支援相談センターを通じて生活困窮者支援に役立てている。

【相談窓口推進部会】

◎「出張!ほおっちょけん相談窓口」の開催

市民が気軽に立ち寄れるスーパー等で福祉や生活に関する相談会
を開催することで、社会福祉法人を身近に感じてもらうとともに、専門
性の高い相談支援を実施する。

<これまでの開催実績>

イオンモール高知、マルナカ高知インター店
高知市障害者福祉センター、三里フェア



◎勉強会の実施

部会員の相談支援スキルの向上を目的に勉強会を実施する。

<これまでの開催実績>

○公的な支援制度の学習(高齢者・障がい者、子ども、生活困窮)
○テーマ型学習(ヤングケアラー、ひきこもり、依存症)



【災害対策連携部会】

◎会員法人間の相互支援体制の構築に向けた取組の実施

局地災害による被災を想定した法人間連携の訓練を実施する。
オンライン環境を活用し、効率的・効果的な支援体制の構築に
向けた検討を進める。

◎職員研修会の実施

初期行動計画やBCPの策定及び検証等、各法人の災害への
備えに関する共通認識・基盤づくりを進めるための研修を実施する。

